



生徒会スローガン「一生懸命が、かっこいい！」くわでいーさー=モモタマナ(樹木)

中城中学校だより

くわでいーさー

令和4年(2022年)3月22日発行

発行者 安田智

電話 098-895-3271

No.37

第74回卒業式 169名が旅立つ!

～今までの軌跡を振り返り、さあ行こう、それぞれの物語へ～

令和4年3月11日に3年生としての最後の授業、第74回卒業式が好天気の中、開催しました。午後1時50分に、保護者や先生方、来賓(教育長 比嘉良治、PTA会長 米須章一)の見守るなか、左胸にコサージュを付けた169名の卒業生が番号順に入場しました。今年度もコロナウイルスの感染予防のために、保護者制限(1生徒につき2名)や在校生不在、来賓の不在、式内容の削減などを行い、厳かに行いました。



↑ 第74期生、169名の卒業生が、中学校最後の授業として臨みました

今年度で定年退職となる安田智校長から1組から5組の卒業生1人ひとりに卒業証書が手渡されました。式辞の中で、安田智校長は、「第74期生は、多くの行事や部活動が制限され、苦境の中でも可能な限り教育活動を遂行してくれました。これは皆さんの忍耐力や諦めない精神力、粘り強くやり通す力などを高めたと思います。中城中学校で身につけた力は、次の新天地でも必ず活かされるものと思っています。」また、アメリカ大リーガーの大吉翔平選手や将棋棋士の藤井聡太九段の二人を取り上げ、「常に目的を持って努力する人間になってもらいたい」と式辞の中で、激励のこたばを送りました。そして、告辞を賜りました比嘉良治教育長からは「今の世の中たくさんの情報があふれている中、自分にとって必要な情報を選択する力が必要」「人との出会いが人生を変えることがある」「自分が正しいと思うことは、勇気を持って行動に移すこと」などこれからの社会を生き抜くための示唆を与えてくれました。



↑ 安田校長から1組から5組の卒業生へ一人ずつ卒業証書を手渡しました

在校生を代表して生徒会長の川口一空さんからは「凡事徹底の大切さ、当たり前のことを当たり前をしっかり実行し、継続するということがとても大切だと先輩方が教えてくれました」そして、「Every moment matters(全ての瞬間に価値がある)、勉強しているときだって、何かに失敗したときだって、本を読んでいるときだって、小さな一瞬だったとしても、自分にとっては重要で大切な時間であると、卒業してもひととき、ひとときが自分のためになるように過ごしてほしい」と贈るこたばを述べました。



↑ 校長として最後の卒業式の式辞を述べる安田校長

卒業生代表として、前生徒会長の與儀拓人さんからは「この3年間で楽しいことや辛いこと、本当に様々な事がありました。1年生の頃の陸上練習や部活動は苦しくて逃げ出したくなったこともありましたが、仲間同士で声を掛け合い乗り越えてきたこと。

3年生の最後の学級合唱コンクールは、・・・→ うら面につづく

オモテより→ 最高の歌声を届けることが出来ました。新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止や縮小、予想もしなかった出来事が次々と起こり、悔しい思いもりましたが、そんな中だからこそ気づかれた事がありました。仲間の大切さ、いつもそばにいてくれる家族の温かさでした。これまで、当たり前のように過ごしていた生活が、どんなにありがたいことであったのか、私たちは、この経験をこれからの人生に活かしていきたいと思います。後輩の皆さん、これからは皆さんがこの中城中学校を背負っていく番です。これから先、様々な困難が待ち受けていたとしても、決してひるむことなく、みんなで力を合わせ、目標に向かってつき進んでください。」と門出の言葉を述べてもらいました。

卒業生保護者代表として、山下大作さんが「子どもたちは、3年前の入学式で新しい制服に身を包み、中学校生活に対する不安や希望、様々な思いを胸に、中学校の門をくぐり、3年間の学校生活で心身共に大きく成長しました。新型コロナウイルスの影響により、様々な学校行事が中止となりましたが、そのような中でも勉学や部活動に励み充実した学校生活を過ごせたことに、深く感謝しております」とお礼のことはを述べてもらいました。

卒業生の歌は、感染予防のために式当日は歌わず、各学級音楽の授業の時に録音したものを会場に流しました。今回初の試みとして、式終了後の卒業生退場は、卒業生と保護者と一緒にアーチをくぐりながら退場してもらいました。とても微笑ましい光景で感動する場面でした。無事、第74回卒業式を終えることが出来ました。

前日の会場準備をしてもらいました、1年生、2年生の皆さん、そして、式当日の裏方として生徒会執行部や生徒会放送委員、吹奏楽部の皆さんありがとうございました。



↑ 教育委員会告辞を述べる比嘉良治教育長



↑ 在校生代表として川口一空さんが、送ることばを述べました



↑ 門出のことはを述べる前生徒会長の與儀拓人さん



↑ 初の試みで保護者の駐車は、運動場に学級ごとに駐車してもらいました



↑ 多数の祝電と卒業生記念品のポータブルランプ



↑ 卒業生保護者代表あいさつで感謝を述べる山下大作さん



↑ 初の試み、式後卒業生は保護者と一緒に退場して行きました



↑ 卒業生記念品を贈呈する、米須瑠駆(3の3)と父親の守さん